

第4回学習会「未来のために過去を学ぶ」のご案内

2003年8月8日
現代ルポルタージュ研究会

1、 主 旨

私たちのくらしている社会は、いったいどのようになっているのでしょうか。世界的な反戦運動が展開されるなかで、米英軍によるイラク攻撃が展開され、多数の市民に犠牲が出ました。日本政府がいち早く支持したこの戦争は、国連を中心とするこれまでの人類の叡智を覆し、今後の国際政治・経済・文化に計り知れない悪影響を与えそうです。イラクの復興の目処がついていないまま、次はシリアとの声があがっています。

また国際的に注目される経済大国になったとはいえ我が国では、経済の混迷が続き、リストラ・過労死・自殺・いじめ・倒産・ホームレスなど、これまでにない深刻な社会問題が広がっています。

こうしたなかで人間疎外をよりすすめる資本の論理でなく、共生の論理を求めて、各種の協同組合やNPO・NGOなどへの期待が高まっています。それでも社会の根底からあらゆる価値観が激動しつつある今日、自分の居場所を探し、人間らしく働いて生きる道を多くの人が模索しています。

そこで今日に続く歴史からひも解き、私たちが今を生き働くためのヒントについて共に考え探りたいものです。楽しく有意義な場としていきますので、ぜひお気軽にご参加ください。

2、 期 日

8月23日(土) 3:00~5:30

講師から1時間半の問題提起を受け、休憩の後に参加者で議論します。

3、 講 師

柳沢 明朗氏 (労働) 旬報社の元社長：多数の労働や教育関連の出版物に関わっています。

4、 会 場

日本労働者協同組合センター事業団 ⁴階会議室 ⁴
東京都豊島区南大塚2-33-20 東京労働会館 ⁴階
(JR山手線大塚駅南口より徒歩5分)

5、 テーマ

「ファシズムに向けて 日独伊の三国同盟—第2次世界大戦へ—」

6、 参加費

1回につき一人 500円 (講師料、資料代、会場代)。

7、 参加申し込み、問い合わせ

資料の準備の関係がありますので、8月21日(木)までに下記へご連絡ください。
集金は会場でおこないます。

西村 一郎

e-mail: ichirou.nishimura@jccu.coop

携帯電話 080-5038-3199

以 上

ファシズムへの道とその運命

—誕生と克服していく人類の英知

歴史講座 第4回 03.8.23

ファシズムとは? なぜ発生したか、なにを、どんな口実で、どのようにしたのか。

その際のファシズム運動、国民を統合していくキーワードはなにか。組織していく方法・過程はどのようなものか。どうなされたか。その正体は? 対抗軸・対決点は何か。どうつくられたか。

<とりあえずファシズムとは?>

イタリア (生島)

元祖はイタリアのファシズム党。ファシズムは、古代ローマで支配の象徴とされた棒束 Fascio に由来する。これがファシズム運動と結びついたのは1919年3月、ムッソリーニが「戦闘者ファシズム」を結成して以来。同じ頃、ハンガリー (1920年3月)、ブルガリア (23年6月)、スペイン (23年9月。スペイン戦争へ。37年前後。ヘミングウェイの一連の作品「誰がために鐘はなる」。逢坂剛カディスの赤い星他)、ポーランド (26.5) リトアニア (26.12)。ドイツ (1933年政権に)。日、独、伊防共協定 (1936.11.25)、三国同盟締結 (40.9.27)。

(・・・国家総動員法。38.4.1 形成の理由と有事立法のとらえ方を「戦前の有事法制の体系」を論じながら。体制のちがい動員、マインドコントロールの仕方の比較、点検を含めて。渡辺治ポリティック4新自由主義国家とネオナショナリズム 198頁 有事法制の登場への道。なお、世界8月号も。国家緊急権のない日本国憲法のもとでの右からの克服過程)。

Nati (Nationalsozialismus)。国家社会主義、民族社会主義。ムッソリーニも社会党員 (イタリアのファシズム運動については、イタリア自身もふくめ唯一の通史という、57年刊。山崎功「イタリア社会運動史」)。

ファシズム—暴力的・専制的な政治支配の形態。階級の本質は「金融資本の最も反動的な、最も排外的な、最も帝国主義的な分子の赤裸々なテロリズム独裁」(デミトロフの定義。ナチによる国会放火事件の被告。放火事件の著作あり。第7回コミンテルンが出した・1935年、反ファシズム統一戦線の政策、運動の提案者だが、スターリンに追従して、粛清、脅迫によりソ連国内外を問わず弾圧、支配を実現していった。後述の全般的危機論に関連)。

<とりあえずファシズムの正体を解くために、典型的事実・何をやったかをみておく。>

どんな価値観、理想のために? (口実と正体)。把握の視点、問題意識>。

1、歴史の3題話。大日本帝国憲法の寿命 57年。日本国憲法 57年たったA資本主義の全般的危機論の37年の寿命が犯した大きな犯罪。20世紀論、世界論のメガネ、資本主義のとらえ方に存在した根本的誤りの運命。何より、私が編集した労働運動史や歴史書のすべてが、また、私の持っている蔵書の全てが、全般的危機の深まり、つまりは現代社会・世界、現代資本主義が矛盾の深まりの中で自滅する事の立証に明け暮れるという否科学のママ。(帝国主義論、国家論、時代、世紀論の変更とも)

2、ナチの種族改造計画—レーベンス・ボーンの正体・意味。(Xレヒの法則)

ショアー 4回のビデオ。とりわけ、金髪のヨハネス・ナチスにさらわれた子どもたち。ナチが世界支配、運営のために、ゲルマン民族の血を濃く持ったエリートづくりのためにとった人間増産計画。ホロコーストなど前提にあるユダヤ人迫害の理論と実態 (映画ニュールンベルグ裁判。戦場のピアニスト)。皆川博子「死の泉」早川書房 97年刊 8p2段 436頁。週間文春ミステリー 第1位。レーベンス・ボーン題材。

秋葉、高谷、近藤先生らの障害者論。日本でもあった天才製造計画。ポルトマン、メンデル、ゴルトンの否定。戦場のピアニスト。

3、年表の最後につけた「大東亜共栄圏」当時 (1940~1945年)。データで見る日本とアジア (朝日新聞 94.8.23。戦死者の数も)。

4、1931~35年までの年表のポイント確認。どう形成されたかの事実把握。以後、歴史認識形成のためのマインドコントロールしていく教育・教科書問題を1回おく。皇国史観、大東亜共栄圏、八紘一宇、植民地解放などのイデー解明、治安維持法、特別高等警察、植民地支配の過程など全3回で。

①
1917
②
③
2017

全書
と
主
目

有本

①
(

- 1840～2 アヘン戦争（中国分割支配の突破口）
- 1847 10時間労働法（英）
- 1848 共産党宣言刊。2月革命（仏）3月革命（独）
チャーチスト3回目請願運動（英）
- 1851 合同機械工組合成立（新型組合運動・英）
- 1853 米労働総同盟結成。ペリー米艦隊浦賀来航。
- 1862 米リンカーン大統領、奴隷解放宣言
- 1863 独、全独労働者同盟創立（ラッサール会長）
- 1864 国際労働者協会（第1インターナショナル）
- 1867 マルクス資本論第1巻刊
- 1868 明治維新。労働組合会議（TUC・英）成立。
- 1869 労働騎士団結成～
- 1871 パリ・コンミュン樹立
- 1875 社会主義労働党結成（英）。1877 米鉄道労働者
全国スト、軍隊と衝突。1878 社会主義鎮圧法公布
（独）1880 仏、社会主義労働党結成。1881 英、社
会民主連盟結成。ロシア社会民主労働党を共産党と
改名、フィンランドハンガリー、ポーランド、ドイツ
など共産党結成。養老・廃疾保険法に至る一連の労働
者保険法をビスマルク創設。生存権の国家的配慮の
1歩。マルクス死。
- 1884 職業組合法——（仏）シャブリエ法の命を絶つ。
フェビアン協会結成（英）
- 1886.5.1 米、各地に8時間労働制要求スト。ヘイ
マーケット事件。メーデー起源。・フランス労働組
合全国連合結成・アメリカ労働総同盟AFL結成
- 1889 大日本帝国憲法発布（2.11）。
第2インターナショナル、パリで結成。
- 1890 独、社会主義鎮圧法撤廃。初の国際的メーデー
（5.1）第1回衆院選（7.1）。教育勅語（10.30）。
- 1894 米、鉄道労働者の全国スト、軍隊と衝突。
日清戦争—最初の侵略戦争、以後10年毎に。
- 1895 仏、労働総同盟（CGT）結成
- 1897 日、労働組合期成会結成。鉄工組合結成
- 1898 ロシア社会民主党結成。日鉄矯正会
- 1899 横山源之介「日本之下層階級」
- 1900.3 治安警察法公布（日、労働組合死刑法）
- 1901 アメリカ社会党、フランス社会党結成
片山潜、幸徳秋水ら社会民主党結成、即日禁止
タフ・ベール事件（1901.7.22 上院最終判決）
- 1903 幸徳、堺ら平民社創立。「平民新聞」創刊。
- 1904 日露戦争。片山とブレハーノフ壇上で握手。1905
ロシア第一次革命。ポチョムキン反乱。
- 1906 英労働代表委を労働党と改称。日本社会党
結成。足尾銅山大暴動。
- 1910 大逆事件の大弾圧。朝鮮を併合。
- 1911 中国、辛亥革命。
- 1912 中華民国。清滅亡。明治天皇死、大正と改元
- 1914 第一次世界大戦。日本対独宣戦布告（8月）
- 1915 日本、対華21ヶ条要求 1916 工場法施行（9.1）
- 1917 ロシア2月革命、ツァー退位。10月社会主
義革命。独、独立社会民主党結成
- 1918 独、ベルリン労働者50万人反戦スト。独革
命—カイゼル退位、共和国宣言。日本米騒動
全国に。日本シベリア出兵決定。
- 1919 第一次世界大戦終結と戦後体制の出發
・ベルリン労働者20万人蜂起。軍部弾圧でロ
ーザ、リープクネヒト暗殺・朝鮮独立暴動3.1
・コミンテルン（共産主義インター）創立。
・中国5.4運動・ヴェルサイユ講和条約成立（6
月）ウイルソン米大統領14箇条、レーニン「平
和についての布告」。・国際労働組合連盟再建（7
月）・ワイマール憲法採択（独7月）・友愛会「大
日本労働総同盟友愛会と改称・ILO 国際労働
機構設立—第1号、8時間労働制。日本未批准
- 1920 国際連盟・パリで成立（1.16）八幡製鉄2万
数千人スト、溶鉱炉の火を落とす。憲兵干涉。
戦後恐慌（3）。日本最初のメーデー。上野公園で。
- 1921 夕張など賃下げ反対スト2万7千。三菱造船、
造船川崎3.8万人スト。プロヒンテルン（赤色労
働組合インターナショナル）モスクワで結成。
日本シベリア撤兵。ムッソリーニ、ローマ進軍10。
- 1922 全国水平社創立大会（京都）賀川豊彦ら「日
本農民組合」結成。・日本共産党結成（7.15）
・学生連合会結成
- 1923 野田醬油争議2千スト。子弟同盟休校。共青
結成。社会主義インター結成（5.22）。関東大震
災（在日朝鮮人、亀戸事件、大杉栄夫妻）3大虐殺
- 1924 レーニン死（54歳）
- 1925 日本労働組合総同盟結成。普通選挙法成立
（3）・治安維持法公布（4.22）。中国5.30事件。
- 1926（昭和元年）共同印刷スト。労働農民党結成。
浜松日本楽器スト105日に。
- 1927 金融恐慌（3）第一次山東出兵（5）コミンテ
ルン、日本に関するテーゼ（27年テーゼ）。
- 1928 函館ドッグゼネスト。普選法第1回選挙（3）。
3.15 共産党弾圧。海員組合1800スト、最賃制確
立。張作霖爆殺事件（6.4）。特別高等警察（特高）
全国に（7.5）。日本労働組合評議会（全協）結成。
不戦条約調印（8）。ソ連5カ年計画発表。

- 1929 労農党、山本宣治代議士、刺殺さる。4.16
共産党弾圧事件。労働組合全国連盟結成 (9.9)
世界恐慌始まる。ニューヨーク株式取引所で大崩壊。暗黒の木曜日 (10.24)。東京市電ゼネスト。
- 1930 金解禁。ロンドン海軍軍縮会議 (1)。ロンドン条約調印。軍部右翼反対運動。浜口首相狙撃 (11.14)。東洋 モスリン亀戸工場閉鎖反対スト 2400 (9.20)。
・コミンテルン第7回大会 (7~8)、反ファシズム統一戦線、反帝民族統一戦線の理論と政策。
- 1931 桜会・大川周明ら軍部クーデター未遂 (3)。
・重要産業統制法公布 (4.1)
・満州事変 (柳条湖事件) 9.18 - 15年戦争の始まり
・金輸出再禁止 (12)、金兌換停止 (12.17)
- 1932 第一次上海事変 (1.28)。井上蔵相暗殺 (血盟団事件 2.9)。満州国建国宣言 (3.3)。団琢磨、暗殺 (血盟団事件 3.5) リットン調査団、満州事変実地調査 (4.7)。中共、対日宣戦布告 (4月)。陸、海軍将校ら犬養首相射殺 (5.15)。日本共産党 32 年テーゼ発表 (7.10)。ナチス、第1党になる (7.30) 満州国承認、日満議定書調印 (9.15) 松岡洋右、リットン報告書反論、国際連盟 (11.21)。
- 1933 ・ドイツ、ヒットラー内閣成立 (1.30)。
・小林多喜二、築地署で虐殺 (2.20)。
・ドイツ国会放火事件 (2.27) ・日本、国際連盟脱退 (3.28)。
・ルーズベルト大統領に (3.4)。アメリカ金本位制離脱 (3)。
・ニューディール政策開始 (33.6~36)
・京都大学、滝川事件 (5.25)。
・佐野学・鍋山ら共産党幹部ら獄中で転向声明。
・大日本生産党クーデター発覚 (神兵隊事件、7.11)。
・ドイツ、軍縮会議と国際連盟離脱を通告 (10.14)。
・松岡洋右、政党解消連盟を結成。
- 1934 日英通商会談決裂 (2.14)。
・満州国帝政、皇帝溥儀 (3.1)。
・ヒトラー総統に就任 (8.2)。東北農村で冷害による飢饉起こる。身売り斡旋を村役場で。
・ソ連、国際連盟に加盟 (9.18)
・陸軍省「国防の本義と其強化の提唱」発表 (10.1)
・中共、長征へ (10月)。
・丹那トンネルによる新東海道線開通 (12.1)。
・政府、ワシントン海軍軍縮条約廃棄を通告 (12.29)
- 1935 美濃部達吉の天皇機関説、問題化 (2.19)
・ドイツ再軍備宣言 (3.6)。中共の抗日救国宣言 (8.1)
・相沢中佐、永田軍務局長を暗殺 (相沢事件) (8.12)
・イタリア、エチオピア戦争 (10.3)。ドイツ、国際連盟脱退発効。
・大本教、不敬事件で検挙 (12.8)。
・日本のダンピング、国際間の問題に (12月)。

- 1936 ・ロンドン海軍軍縮会議脱退 (1.15)。
・美濃部達吉、右翼に襲われ負傷 (2.21)
・2. 26 事件。香道派青年将校ら 1500 人によるクーデター。齊藤内大臣、高橋蔵相ら殺害。
・メーデー禁止 (3月)。
・スペイン内乱 (7.17)
・日・独・伊防共協定調印 (11.25)
- 1937 ・文部省編「国体の本義」刊 (5.31)
・廬溝橋で日中両軍衝突 (日中戦争 7.7)
・閣議、「国民精神総動員実施要項」(8.24)
・第二次国共合作成立 (9.23)
・日本軍、南京占領、南京大虐殺 (12.13)
・人民戦線事件 (12.15)
- 1938 ・御前会議「支那事変処理根本方針」決定 (1.11)。政府「爾後、国民政府を相手にせず」と声明 (1.16) ・大内兵衛・美濃部亮吉ら教授グループ検挙 (2.1)
・ドイツ、オーストリアを合併 (3)
・国家総動員法 (4.1)・・・有事立法と同じ。
・産業報国連盟創立 (7.30) ・ミュンヘン協定調印 (9.30) ・日本軍、武漢三鎮占領 (10.27)。
・政府「東亜新秩序」声明 (11.3)
- 1939 ・ノモンハン事件 ・国民徴用令交付 (7.8)
・第二次世界大戦勃発 (9.1)
- 1940 ・社会大衆党解散 (7.6) ・総同盟解散 (7.8)
・日・独・伊三国同盟締結 (9.27) ・大政翼賛会発会式 (10.21) ・大日本産業報告会結成 (11.2)
- 1941 ・戦陣訓示達 (1.8) ・生活必需物資統制令公布 (4.1)。
・日ソ中立条約調印 (4.13)。
・御前会議「情勢の推移に伴う帝国国策要綱」決定 (7.2)。日本軍、南部仏印進駐 (7.28)
・米政府、対日石油輸出禁止 (8.1)
・御前会議「帝国国策遂行要領」決定 (11.5)。
・米國務長官「ハルノート」提示 (11.26)
・御前会議「開戦決定」(12.1) ・日本軍マレー上陸、真珠湾攻撃、太平洋戦争勃発 (12.8)

*

1937 年以降のアジア地域の日本軍。
 朝鮮 354,000 人。中国 (満州ふくむ) 2221,500 人
 インド、ビルマ 246,900 人 台湾 227,900 人。
 フィリッピン 613,800 仏領インドシナ 108,700 人、
 タイ 112,400 人。マラヤ、オランダ領、東インド 486,700 人。
 ニューギニア、ビスマルク諸島、ソロモン諸島 392,800 人、中部太平洋諸島 342,800 人。
 合計 8 地域で 5,107,500 人